



理念	現場運営	知識	合計
/18	/20	/62	/100

所属施設： 所属部署： 受験番号： 氏名：

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ 1 人 1 人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように、問題文にしっかりと目を通し、時間配分を意識して試験に取り組んでください。

《法人理念に関する問題》

1. 社会福祉法人ケアマキスでは、「質の高いケアをめざし、自らの成長をめざす人」を求める職員像としています。介護現場における人材育成は職員のスキルや意欲の向上だけでなく、ご利用者へのより良いケアの提供につながります。またスタッフ教育の一環としてケアマイスター制度を導入し、各スタッフがスキルアップできるよう取り組んでいます。

- (1) あなたは特別養護老人ホームの中堅職員（ケアマイスターゴールドクラス）として、現場ケアの質の向上や後輩育成、職場改善に関わる役割を期待されています。あなたが「質の高いケアを継続するために現場で果たすべき役割」を 2 つ述べなさい。（配点 2×2）

- (2) ケアマイスター制度を「個人の資格」で終わらせず、法人・施設全体の力として活かすために必要なことを 3 つ述べなさい。（配点 2×2）

- (3) 新人指導にあたっている中堅職員は指導を通して学べることがあるとすればどのような要素か。1 つ述べなさい。（配点 2×1）

--

2. 人材不足が深刻化する中、高齢者施設が地域や家族と連携し、「開かれた施設」として支え合いの仕組みを構築する地域が増えていきます。施設と地域との連携について、法人理念「千年企業 私たちは、ご入居者様、ご家族様、地域社会とともに歩み、役立ち続ける責任があります」を踏まえ、以下の問題に答えなさい。（8）

- (1) あなたの施設で行いたい「地域住民が参加したいと思える取り組み」を考えて答えなさい。また、その取り組みが地域にどのような影響を与えるものになってほしいか答えなさい。（配点 2×2） ※既に実施していることは除く。

取り組み内容	
与える影響	



- (2) 上記のような高齢者施設と地域との連携の取り組みが成功するためには、計画的かつ段階的なアプローチが必要です。あなたが(1)で考えた取り組みを行っていく際に踏むべき段階をステップ1～3とした場合、ステップ2～3の空欄にあてはまるテーマと具体的な内容を記入しなさい。(配点2×2)

段階	テーマ	内容
ステップ1	地域の現状とニーズの調査・分析	施設が連携を行うべきターゲットと、地域が抱える課題、そして施設に期待されている役割を明確にする。

↓

ステップ2		
-------	--	--

↓

ステップ3		
-------	--	--

《現場運営に関する問題》

1. 事例を読み、問題に答えなさい。

あなたは、介護老人福祉施設でユニットリーダーを務める介護職員です。ご利用者のAさん(90歳・女性)は、認知症と心不全を併せ持ち、最近体調の変動が大きくなっています。医師からは「急変の可能性があるため、日々の観察と多職種連携が重要」と説明を受けています。

Aさんは不安が強く、夜間に不穏になることが増え、職員への訴えも多くなっています。ご家族は「できる限り施設で穏やかに過ごしてほしい」と希望しています。

Aさんが安心して生活できるよう、「身体的な安定を図る対応」と「安心感を高める関わり」について、それぞれ具体的に2つずつ答えなさい。(配点2×4)

身体的な安定を図る対応：

安心感を高める関わり：

2. 同じ部署のスタッフから下記の質問・要望があったとき、あなたはどのような返答をするかそれぞれ答えなさい。(配点2×3)

(1) 特養の要介護3のお客様の排泄介助について、「トイレ誘導となっていますが、ほぼパット内で排泄されているのでトイレでの排泄はありません。おむつ (おむつ対応)に変えていいですか？」という質問があった場合。

--

(2) デイサービスのお客様について「徘徊がある方が来られると、付きっきりになって現場がスムーズに運営できません。利用を断ってほしいです。」と言われた場合。

※認知症についての説明は行っているものとします。

--



- (3) 糖尿病で食事制限があるサ高住入居中の 63 歳女性のお客様に関して、「本人から、お菓子が食べたいと毎日のように希望がある。本人の希望をかなえてあげたい」と言われた場合。

--

3. あなたはデイサービスで責任者をしています。利用者数の増加に伴い、利用定員を 12 月から 35 人に見直しました。以下の情報をもとに、問いに答えなさい。(8)
- 【11 月・12 月の実績】

	11 月	12 月
営業日	21 日	21 日
利用定員	30 人	35 人
介護職配置基準	4 人	(①)人
1 か月の総利用者数	(②)人	570 人
稼働率	90%	(③)%
介護職員常勤換算人数	(④)人	

【在籍スタッフの勤務時間数】

スタッフ名	週の出勤時間
A	40 時間
B	40 時間
C	16 時間
D	24 時間
E	32 時間
F	28 時間

【条件】

- ・介護職員配置基準：利用定員 15 人までは 1 人以上配置し、以後 5 人増えるごとに 1 人を追加する。
- ・常勤換算方法：職員の勤務時間合計を、常勤職員が 1 週間に勤務する時間（40h）で除し、職員数を常勤職員の人数に換算する方法

- (1) 上の表の①～④にあてはまる数字を記入しなさい。 ※小数点第 2 位は切り捨て （配点 1×4）

①	②	③	④
---	---	---	---

- (2) 定員を増やすための準備が不足していたことから稼働率が低下し、スタッフからは「何をどうしていいかわからない」といった意見が出ました。定員を増やすことに対してあなたが行うべきだった行動を、「稼働率の維持」、「スタッフへの対応」の 2 つの項目に分けて、それぞれ記入しなさい。（配点 1×2）

稼働率の維持	
スタッフへの対応	

≪知識問題≫

1. 認知症状のある高齢者とのコミュニケーションについて、以下の問いに答えなさい。(6) <コミュニケーション技術>

【問題】 あなたは特養のスタッフです。入所している C 様（85 歳、女性、アルツハイマー型認知症）に昼食を配膳しました。すると C 様から「私、お金はこれしかないよ。足りるかい？」と、折りたたまれたティッシュペーパーを渡されました。

- (1) C 様に対して、あなたはどのように対応しますか。その理由とあわせて答えなさい。（配点 2）

--



- (2) 認知症ケアにおいて、良好な人間関係（ラポール）の構築は認知症の方の尊厳を守り、生活の質を築く基盤となります。ラポール構築に必要なことを答えなさい。
（配点 2）

--

- (3) C 様のようなアルツハイマー型認知症の方へのコミュニケーション方法について、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2）

- ① 情報の伝え方として選択肢をたくさん提示し、好きなものを選んでもらう。
② 相手を不安にさせないように、正面から目線を合わせて声をかける。
③ 相手の話の腰を折らないように、うなづくことなく真剣に耳を傾ける。
④ 安心感を与えるために、相手の手をそっと優しく握る。
⑤ 相手に納得してもらえるように誤りを指摘する

--	--

2. 介護保険制度について、以下の問いに答えなさい。（6） <社会の理解>

- (1) 介護保険制度について、正しいものを 1 つ選び、○をつけなさい。（配点 1×4）

- ① 介護保険サービスを利用するには（国、都道府県、市町村）に要介護認定の申請をしなければならない。
② 第 2 号被保険者は、市町村に住所を有する（40 歳以上 65 歳未満、50 歳以上 65 歳未満、50 歳以上 75 歳未満）の医療保険加入者である。
③ 居宅サービスにおける住宅改修費は、生涯で（10 万円、20 万円、30 万円）までとなっている。
④ 介護支援専門員は介護保険法により定められた公的資格であり、（3 年、4 年、5 年）ごとに資格の更新が必要となる。

- (2) 要介護認定の申請について、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2）

- ① 第 2 号被保険者が要介護認定を申請する場合は、その原因である心身の障害が、特定疾病（16 種類）によって生じたものでなければならない。
② 認定の効力は、市区町村から認定結果が通知された日から発生する。
③ 主治医意見書の作成にかかる費用は、申請者が全額負担しなければならない。
④ 介護認定審査会は、一次判定の結果、認定調査票の特記事項、及び主治医意見書を総合的に判断して二次判定を行う。
⑤ 認定には有効期間があり、更新手続きは満了日の 30 日前から行うことができる。

--	--

3. 介護にまつわる職種や用語の説明として、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2） <介護の基本>

- ① 作業療法士は、身体機能に障害がある人に、医師の指示に基づいて運動療法や物理療法などを用いて基本的動作能力の回復を図る。
② 医療ソーシャルワーカーは、療養上の世話、診療補助を行う。地域包括支援センターや市町村、保健所などに勤務する。
③ ICF とは、生活機能という「人が生きることの全体像」を表すことで、プラス面もマイナス面も中立に捉える特徴がある。
④ エンパワメント・アプローチとは、利用者が持っている力に着目し、その力を引き出して積極的に利用・援助することである。
⑤ ノーマライゼーションとは、利用者が自分の権利やニーズを表明することが難しい場合は、介護福祉士などが代弁し、権利擁護に努める活動を示す。

--	--

4. 移動や歩行に影響を及ぼす疾患について、あてはまる疾患名を下記の語群から選び、記号で答えなさい。（配点 1×4） <こころとからだのしくみ>

- ① （ ）歩き続けると足にしびれや痛みを感じ、休み休みでしか動けなくなる「間欠性跛行」を伴う。
② （ ）歩幅が小さな小刻み歩行や手足の震え（振戦）、筋肉のこわばり（筋固縮）が見られる。
③ （ ）遺伝性の疾患であり、筋肉が徐々に萎縮し、やがて歩行困難となる。
④ （ ）筋肉を動かすための神経に異常が発生し、自力での運動が困難になる。

ア：筋萎縮性側索硬化症	イ：正常圧水頭症	ウ：脊髄小脳変性症	エ：サルコペニア	オ：慢性硬膜下血腫
カ：脊柱管狭窄症	キ：頸椎症	ク：筋ジストロフィー	ケ：パーキンソン病	コ：変形性膝関節症

5. 高次機能障害のある人に見られる行動として当てはまるものを 2 つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2） <障害の理解>

- ① 見当識障害から、自分のいる場所がどこかわからなくなる。
② 言語障害から、相手の話すことが理解できない。
③ 注意障害から、同時に 2 つ以上のことをしようとすると混乱する。
④ 失認から、それが何であるかを認識できない。
⑤ 社会的行動障害から、年齢や立場に合わない幼稚な行動をとる。

--	--



6. 住環境や福祉用具についての事例を読み、以下の問いに答えなさい。(6) <生活支援技術>

【事例】

Mさん(83歳、女性)は半年前に転倒し、右大腿骨頸部骨折により3ヶ月間入院していた。入院中にリハビリテーションを行い、立ち上がりや立位保持、座位保持は可能であるが、下肢筋力の低下などから歩行は不安定である。屋内は杖や手すりを用いて何とか歩行できている。

(1) 退院後の、Mさんが自宅で生活する上で想定される困りごとや注意すべき点を、理由も併せて答えなさい。(配点2)

例：入浴時の困難→下肢筋力低下から、浴槽をまたぐ等の入浴動作がしづらい。など

--

(2) Mさんの入浴環境に関する次の文章のうち、誤りのある部分に線を引き、正しい語句に直しなさい。(配点1×2)

① 浴室の入り口は開き戸にすることで開閉がしやすく、万が一浴室内で人が倒れた場合でも、ドアがぶつかって開けられないという状況を防ぐことができる。

② 床から浴槽の縁までの高さは60cmにすると出入りしやすい。

(3) 福祉用具について、不適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。(配点1×2)

① 現在、介護現場で導入されている介護ロボットには、移乗支援の装着型アシストスーツや見守りシステム、コミュニケーションロボット等がある。

② 4点杖(多点杖)は接地面が広く安定するため、階段昇降での使用に適している。

③ 腰掛便座は、介護保険法における福祉用具貸与の対象である。

④ 介護保険法に定める福祉用具には、機能訓練のための用具も含まれている。

⑤ 工事を伴わない据置型の手すりは、利用者が「貸与」か「販売」を選択することができる。

--	--

7. 次の事例を読み、以下の問いに答えなさい。(5) <こころとからだのしくみ>

【事例】グループホームに入所しているCさん(82歳・男性)は、大工として長年働いてきた経験があり、手先が器用な方です。入所後、他の利用者や職員に対して「俺が若い頃はこんなことやあんなこともできていた」、「こんな簡単なこともできないのか」といった発言が増え、周囲の入所者とも摩擦が生じるようになりました。最近、Cさんは居室で一人過ごすことが多くなり、レクリエーションにも参加しなくなりました。

(1) Cさんのカンファレンスで、「部屋にこもっていても認知症が進行し、ADLも低下する。Cさんに活動的に過ごしてもらうためにはどうしたらよいか」と議題があがりました。あなたの提案を書きなさい。(配点2)

--

(2) Cさんの言動は、マズローの欲求5段階説に分類されている欲求の1つに起因すると考えられます。最も当てはまる欲求を書きなさい。(配点1)

--

(3) 記憶の特性と加齢の影響について、適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。(配点1×2)

① 「手続き記憶」は、加齢の影響を受けにくく、比較的衰えにくい。

② 「エピソード記憶」は、個人的な体験に基づく記憶であり、加齢による影響を受けやすい。

③ 「短期記憶」の保持能力は、高齢になっても若年期と変わらない。

④ 「展望的記憶」とは、過去に起こった出来事を思い出す記憶のことである。

⑤ 認知症の初期段階では、数十年前に身につけた仕事の技術(手続き記憶)から失われる。

--	--

8. 認知症は原因疾患により出現する症状が異なります。認知症の疾患特性を考慮した対応について、以下の問いに答えなさい。(6) <認知症の理解>

(1) レビー小体型認知症を発症されているFさん(要介護2・男性)は夜になると落ち着きがなくなります。その点について困っているという家族から以下2つの質問がありました。あなたならどのようなアドバイスをするか答えなさい。(配点2×2)

① 「夜中になると落ち着きがなくなり家の中を歩き回る。どう対応すればいいですか？」

--



- ② 「部屋の隅を指さして『あそこに知らない子供が座っている』と怯えることがある。どう接すればいいですか？」

- (2) 前頭側頭型認知症を発症している G さん（要介護 1・男性）は、最近他人の家の庭に勝手に入って花を摘んだり、毎日決まった時間に同じコースを歩き続けて途中で止めようすると激しく怒り出すため、家族が対応に困っています。あなたはどのようなアドバイスしますか。（配点 2）

9. 疾患名と特徴・症状・原因について、正しい組み合わせを線でつなぎなさい。（配点 1 × 4）＜発達と老化の理解＞

- | | | |
|----------------|---|----------------------|
| ① メニエール病 | ・ | ・ 三大合併症（網膜症、腎症、神経障害） |
| ② シャイ・ドレーガー症候群 | ・ | ・ 頻脈・眼球突出・体重減少 |
| ③ 糖尿病 | ・ | ・ 回転性のめまい・耳鳴り |
| ④ 甲状腺機能亢進症 | ・ | ・ 起立性低血圧などの自律神経症状 |

10. 下記の説明文の（ ）内に適切な用語を答えなさい。（配点 1 × 4）＜複合問題＞

- ① 気道確保のために、傷病者の背部に回り、両方の手を脇の下から通し、片方の手でもう一方の手をつかんで、圧迫するように斜め上へすばやく突き上げる方法を（ ）という。
- ② 家族や親しい人が亡くなって深い悲しみの中にいる人に対して、寄り添い、悲しみから立ち直れるようにする支援を（ ）という。
- ③ 失語症には、話がたどたどしくなるが比較的言葉の理解が保たれているブローカー失語と流ちょうに話せるが意味内容を伴わず、話し言葉や書き言葉の理解が困難になる（ ）失語がある。
- ④ 成年後見制度は法定後見制度と任意後見制度にわかれ、法定後見制度は本人の判断能力の程度で、補助・（ ）・後見の 3 つに分類できる。

11. 高齢者虐待について事例を読み、以下の問いに答えなさい。（5）＜介護の基本＞

【事例】 A さん（90 歳・男性）は、特養に入所しています。前立腺肥大症と認知症の既往歴があり、最近トイレで排尿をすませて居室に戻った直後にナースコールを押して再びトイレの訴えがある場合があります。ある日ユニットリーダーのあなたが早出で出勤すると、ベッド上で失禁し震えている A さんを発見し、ナースコールは A 様の手が届かない場所に置いてありました。夜勤スタッフの D さんに事情を尋ねると、「A 様が夜間に何度もコールを押すのでナースコールをベッドから離しました。夜間帯は訪室してトイレ誘導はしていました」との返答でした。

- (1) このようなことを今後二度と起こさないために、ユニットリーダーとしてどのような再発防止策を講じれば良いか答えなさい。（配点 2）

- (2) 聞き取りを行ったところ、夜勤スタッフ D さんは A 様に対して「さっきもトイレに行ったから我慢して！」と怒鳴るような口調で対応をしていたという声があったので、これについて D さんを指導しました。このような行動は心理的虐待、身体的虐待につながる恐れがあります。このような身体拘束の一種を何というか答えなさい。（配点 1）

- (3) 夜勤スタッフ D さんに対して、自分の行動が虐待であると気づかせるにはどのように指導すればいいか答えなさい。（配点 2）



12. 褥瘡について、以下の問いに答えなさい。(6) <発達と老化>

(1) 褥瘡の予防や防止策について、() 内に適切な語句を語群から選び、アルファベットで答えなさい。(配点 1×4)

- ① 車椅子座位時に仙骨部に圧力が集中しないように() のような体圧分散用具を併用するとよい。
- ② 長時間同じ体位をとらないように基本的に体位変換は() ごとに行う。
- ③ 血液循環を促すために、() にマッサージを行う。
- ④ 低栄養は褥瘡のリスク因子であり、特に重要な栄養素は() やビタミン C などである

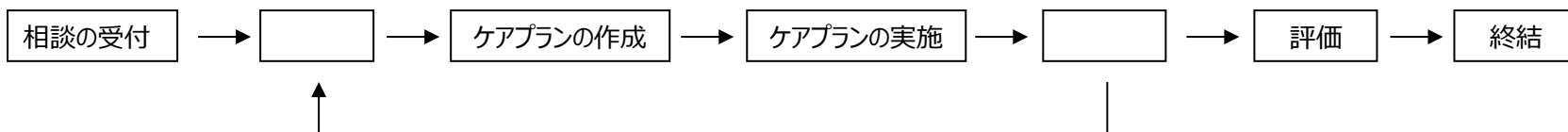
A.ナーストパット B.円座 C.エアクッション D.1 時間 E.2 時間 F.3 時間 G.足裏 H.大転子 I.前頭部 J. たんぱく質 K.炭水化物 L.脂質

(2) BMI の他に褥瘡の発生要因について、外的要因と内的要因を 1 つずつ答えなさい。(配点 1×2)

外的要因	身体的要因
例：体重による骨部分への持続的な圧迫	例：麻痺や意識障害により、体位変換が自力で難しくなる

13. ケアマネジメントを基に介護を実践していく過程について、以下の問いに答えなさい。(6) <介護の基本/介護過程>

(1) ケアマネジメントの手順として適切な語句を語群から選び、アルファベットで答えなさい。(配点 1×2)



A.ニーズ B.モニタリング C.サービスの提供 D.アセスメント E.報告聴取 F.ヒアリング G.認定調査 H.同意 I.説明 J 交付

(2) 介護過程の視点のひとつに ICF があります。ICF の構成要素とその内容(定義)の組み合わせとして適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① 心身機能：肢体の欠損や器官の変形などの、身体の解剖学的な部分
- ② 身体機能：精神機能、感覚機能、運動機能などの、身体系の生理学的機能
- ③ 活動：生活上の目的を持って行われる具体的な動作や行動(歩行、入浴、家事など)
- ④ 参加：家庭や社会の中での役割を果たし、関わること(就労、地域活動、趣味の集いなど)
- ⑤ 個人因子：家族や近隣、法制度など、個人の生活を取り巻く外部環境

--	--

(3) あなたは特養の介護スタッフです。ケアマネジメントにおけるチームアプローチの実践について、介護職に求められている役割を答えなさい。(配点 2)

--